

## 令和7年度の焼津市の財政の健全化に関する比率の報告について

### 1 一般会計等に係る健全化判断比率

| 項 目      | 比 率  | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|----------|------|---------|--------|
| 実質赤字比率   | —    | 11.77%  | 20.00% |
| 連結実質赤字比率 | —    | 16.77%  | 30.00% |
| 実質公債費比率  | 5.6% | 25.0 %  | 35.0 % |
| 将来負担比率   | —    | 350.0 % |        |

※ 実質赤字額及び連結実質赤字額が生じていないため、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は算定されません。

※ 将来負担比率はマイナス値となるため、算定されません。

### 2 公営企業に係る資金不足比率

| 会 計       | 比 率 | 経営健全化基準 |
|-----------|-----|---------|
| 水道事業会計    | —   | 20.0%   |
| 病院事業会計    | —   |         |
| 公共下水道事業会計 | —   |         |
| 温泉事業特別会計  | —   |         |

※ いずれの会計においても、資金不足額が生じていないため、資金不足比率は算定されません。

### 3 各比率について

#### (1) 実質赤字比率

＝一般会計等の実質赤字額／標準財政規模×100

△3,769,652 千円（黒字）／30,814,577 千円×100＝△12.23%

#### (2) 連結実質赤字比率

＝地方公共団体の連結実質赤字額／標準財政規模×100

△7,870,925 千円（黒字）／30,814,577 千円×100＝△25.54%

#### (3) 実質公債費比率

＝一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金／（標準財政規模－算入公債費等の額）×100 （3か年平均）

(6.41463+4.58032+5.85157)／3＝5.6%

令和5年度：1,648,161 千円／25,693,790 千円×100＝6.41463

令和6年度：1,204,114 千円／26,288,877 千円×100＝4.58032

令和7年度：1,606,933 千円／27,461,547 千円×100＝5.85157

(4) 将来負担比率

＝一般会計等が将来負担すべき公営企業等を含めた実質的な債務／（標準財政規模－算入公債費等の額）×100

$$\triangle 6,459,409 \text{ 千円} / 27,461,547 \text{ 千円} \times 100 = \triangle 23.5\%$$

(5) 資金不足比率

＝公営企業ごとの資金の不足額／事業の規模×100

$$\text{水道} \quad \triangle 2,093,498 \text{ 千円 (黒字)} / 1,840,852 \text{ 千円} \times 100 = \triangle 113.7\%$$

$$\text{病院} \quad \triangle 855,924 \text{ 千円 (黒字)} / 13,097,972 \text{ 千円} \times 100 = \triangle 6.5\%$$

$$\text{下水道} \quad \triangle 336,514 \text{ 千円 (黒字)} / 607,428 \text{ 千円} \times 100 = \triangle 55.3\%$$

$$\text{温泉} \quad \triangle 1,000 \text{ 千円 (黒字)} / 29,614 \text{ 千円} \times 100 = \triangle 3.3\%$$